

卒業時アンケートに対するコメントについて

薬学部 教務委員長
奈良場 博昭

本アンケートは、平成 30 年度に、薬学部教科課程部会において実施案が検討され、教務委員会および教授会の審議・承認により実施されたものである。これまでに 3 年分実施されたアンケートについて、教務委員長としてのコメントを記載する。

岩手医科大学薬学部のディプロマ・ポリシーを知っていましたか？

現在の薬学部のディプロマ・ポリシーは、平成 25 年度に作成に関する準備を始め、平成 26 年度に決定し、平成 27 年度のシラバスより掲載している。また、平成 27 年度以降は、各年度初めの学年ガイダンスにより学生に説明している。過去 3 年分の卒業時アンケートにおいて、ディプロマ・ポリシーの存在は 8 割程度の学生が認識していると考えられるが、内容をある程度把握している学生は 4 割から 6 割程度であり、その内容を理解するまでには至っていないと思われる。このため、内容を学生が考えて理解するような教育プログラムが必要と考えられ、今後の検討を考える必要がある。

卒業時の今、自分はディプロマ・ポリシーが達成できていると思いますか？

過去 3 年分の卒業時アンケートにおいて、「多くが達成出来た」と考えている学生は 6 割程度となっている。「半分程度は達成出来た」の回答を合わせると 9 割を超え、特に令和 2 年度ではほぼ全ての学生が、少なくとも半分は達成していると思われる。しかしながら、ディプロマ・ポリシーは学位授与における方針という位置づけのため、全ての学生が要件を満たしていることが望まれる。今後、ディプロマ・ポリシーの内容、それに基づく教育課程の編成方針について見直しを含めた検討を行う必要があると思われる。また、本アンケートは、どのディプロマ・ポリシーが達成され、何が未達であるかという内容に踏み込んだ部分を問うものとはなっていない。これまで、3 年間同じ質問事項にて実施してきたので、次回に向けて改定も必要と考えられる。

岩手医科大学薬学部のカリキュラム・ポリシーを知っていましたか？

過去 3 年分の卒業時アンケートにおいて、多くが「知っていたか見たことがある」程度と思われるが、その割合は増加傾向にある。しかしながら、内容も含めて理解していた学生は 1 割にも満たないと思われる。近年、カリキュラム編成等に学生自らが関わるのが求められており、2 年前より教育評価委員会に学部学生を加えている。また、本学部では、学生のグループディスカッションという形式で、学生の意見聴取を行い、カリキュラムに反映させる取り組みを平成 29 年度より実施している。この様な取り組みの際に、カリキュラム・ポリシーに関する説明を行い、現在の教育課程編成がどの様に構築されているか

を学生に理解してもらう取り組みも必要と考えられる。

本学の教育は、カリキュラム・ポリシーに沿って行われていたと思いますか？

過去3年分の卒業時アンケートにおいて、9割程度が「概ねそう思う」となっており、本学部の全ての教育課程を修了した学生からの意見として、本学部のカリキュラムが編成方針に沿って行われていると考えて良い様に思われる。編成方針に沿うことは必要であるが、前述のように、ディプロマ・ポリシーの内容、それに基づく教育課程の編成方針について見直しを含めた検討を行う必要があると思われる。

大学での教育で自身が大きく成長したと感じた取組はどれですか？（複数回答可）

過去3年分の卒業時アンケートにおいて、最多の選択となっているのが「実務実習」であり、これは将来薬剤師となるための臨床実習が充実したものになっていることを示していると考えられる。しかし、実務実習の何が具体的に成長に繋がっているかに関しては、このアンケートからくみ取することは困難であり、詳細な分析をするために、設問等の工夫が必要と考えられる。その他に関しては回答が分散しており、大学教育の多面性を反映しているとも考えられる。

あなたが本学の教育に関わることで改善が強く必要と考えていることはどれですか？（複数回答可）

過去3年分の卒業時アンケートにおいて、多い回答が「授業内容」や「国試対策」となっている。薬学部の6年間の学びの中心となる事項であるが、直後に国家試験の受験を控えている学生が回答しているという事情も鑑みる必要があると思われる。これに関しても、学生からの具体的な意見聴取、そしてその解析が必要と考えられる。

【総評】

設問数を制限しているアンケートであり、情報量としては多くはないが、卒業時、つまり大学教育を修了する時点での学生の意見ということから、その内容は重要と考えられる。学位授与や教育課程編成の方針に関する学生の理解度に関しても改善が必要と考えられる。また、今回のアンケートは無記名としており、解析時に個人的背景を加味することが出来ない。回答者に対する守秘の取り決めは必要であるが、より詳細な分析のためには、個人データの記載も検討すべきと思われる。また、今後、経年変化に関してもデータを蓄積して、解析していく予定である。現在、卒業生や就職先の職場に対するアンケートの実施も始まっている。現在進められている学修成果の可視化と合わせて、教育成果の検証と根拠に基づく改善が必要である。

令和2（2020）年度卒業時アンケート分析

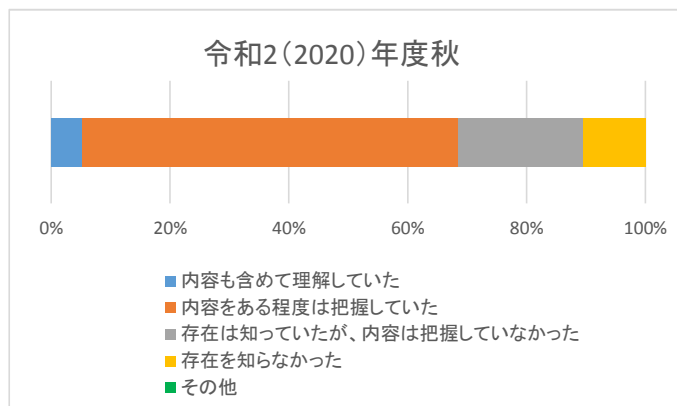
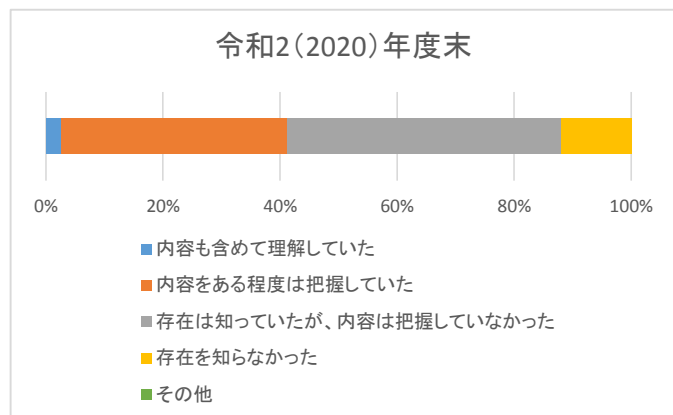
令和2（2020）年度秋季卒業生：19名

令和2（2020）年度末卒業生：80名

岩手医科大学薬学部のディプロマ・ポリシーを知っていましたか？

令和2（2020）年度末卒業生	
回答項目	回答数
内容も含めて理解していた	2
内容をある程度は把握していた	29
存在は知っていたが、内容は把握していなかった	35
存在を知らなかった	9
その他	0
合計	75

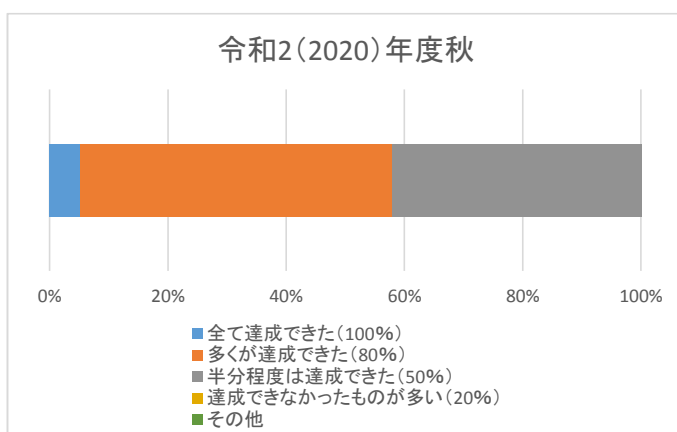
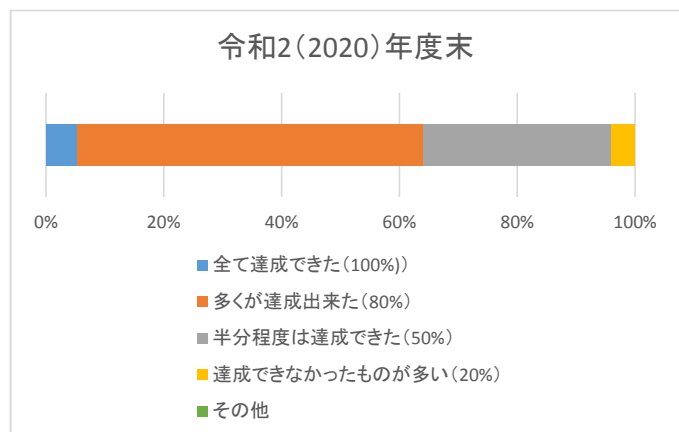
令和2（2020）年度秋季卒業生	
回答項目	回答数
内容も含めて理解していた	1
内容をある程度は把握していた	12
存在は知っていたが、内容は把握していなかった	4
存在を知らなかった	2
その他	0
合計	19



卒業時の今、自分はディプロマ・ポリシーが達成できていると思いますか？

令和2（2020）年度末卒業生	
回答項目	回答数
全て達成できた（100%）	4
多くが達成出来た（80%）	44
半分程度は達成できた（50%）	24
達成できなかったものが多い（20%）	3
その他	0
合計	75

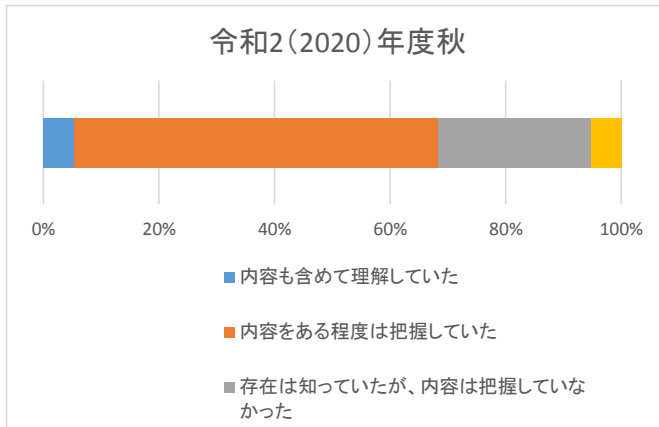
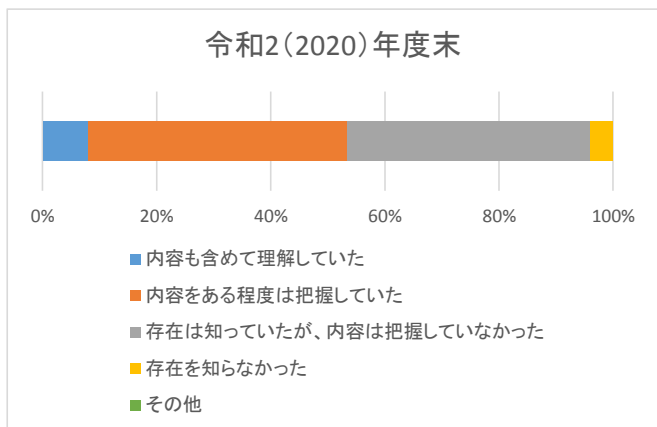
令和2（2020）年度秋季卒業生	
回答項目	回答数
全て達成できた（100%）	1
多くが達成できた（80%）	10
半分程度は達成できた（50%）	8
達成できなかったものが多い（20%）	0
その他	0
合計	19



岩手医科大学薬学部のカリキュラム・ポリシーを知っていましたか？

令和2（2020）年度末卒業生	
回答項目	回答数
内容も含めて理解していた	6
内容をある程度は把握していた	34
存在は知っていたが、内容は把握していなかった	32
存在を知らなかった	3
その他	0
合計	75

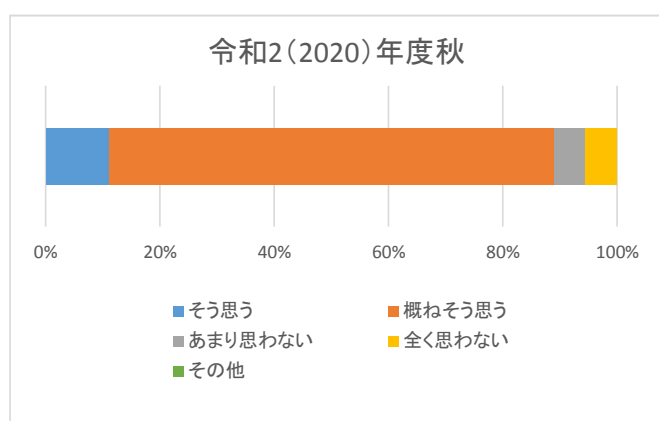
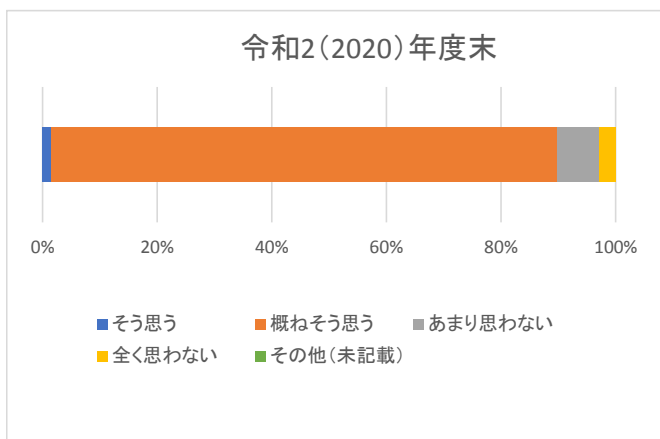
令和2（2020）年度秋季卒業生	
回答項目	回答数
内容も含めて理解していた	1
内容をある程度は把握していた	12
存在は知っていたが、内容は把握していなかった	5
存在を知らなかった	1
その他	0
合計	19



本学の教育は、カリキュラム・ポリシーに沿って行われていたと思いますか？

令和2（2020）年度末卒業生	
回答項目	回答数
そう思う	7
概ねそう思う	61
あまり思わない	5
全く思わない	2
その他（未記載）	0
合計	75

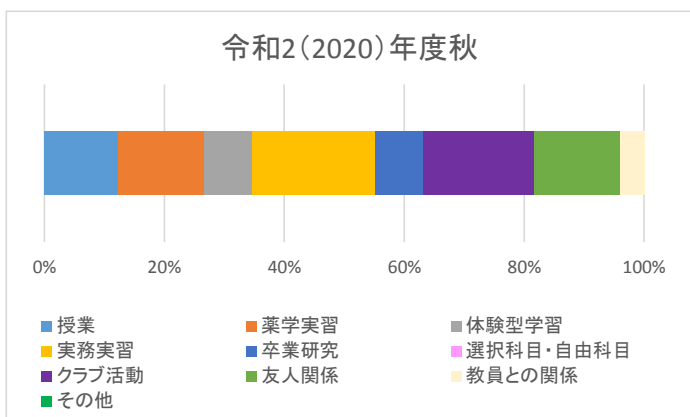
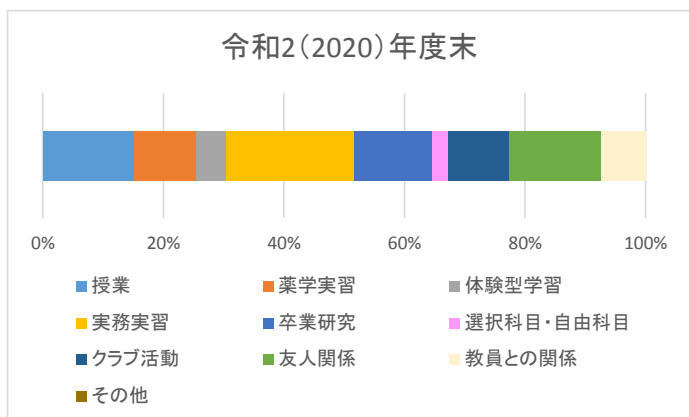
令和2（2020）年度秋季卒業生	
回答項目	回答数
そう思う	2
概ねそう思う	14
あまり思わない	1
全く思わない	1
その他	0
合計	18



大学での教育で自身が大きく成長したと感じた取組はどれですか？（複数回答可）

令和2（2020）年度末卒業生			
回答項目	回答数	回答項目	回答数
授業	33	選択科目・自由科目	3
薬学実習	22	クラブ活動	12
体験型学習	11	友人関係	36
実務実習	46	教員との関係	12
卒業研究	28	その他	0
		合計	203

令和2（2020）年度秋季卒業生			
回答項目	回答数	回答項目	回答数
授業	6	選択科目・自由科目	0
薬学実習	7	クラブ活動	9
体験型学習	4	友人関係	7
実務実習	10	教員との関係	2
卒業研究	4	その他	0
		合計	49



あなたが本学の教育に関わることで改善が強く必要と考えていることはどれですか？（複数回答可）

令和2（2020）年度末卒業生			
回答項目	回答数	回答項目	回答数
入学制度	3	単位認定制度	2
カリキュラム編成	17	進級制度	11
授業内容	30	試験制度	12
教員体制	9	国試対策	21
設備・施設	8	合計	113

令和2（2020）年度秋季卒業生			
回答項目	回答数	回答項目	回答数
入学制度	0	単位認定制度	1
カリキュラム編成	3	進級制度	0
授業内容	9	試験制度	4
教員体制	3	国試対策	8
設備・施設	0	合計	28

